

ときわの風

2013.3.7

vol.16

発行：常磐大学同窓会
編集：常磐大学同窓会事務局
水戸市見和1丁目430-1（常磐大学内）
電話029-232-2511（代）

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

副会長の交代について

齊藤久展副会長（人間科学部1期卒）の退任に伴い、2012年12月8日の同窓会定例幹事会において、松本久司さん（人間科学部10期卒・茨城トヨタ自動車株式会社勝田店勤務）が新たに副会長に就任しました。

就任にあたりまして、松本副会長よりご挨拶をいただきました。

皆様、お元気でいらっしゃるか。このたび、同窓会の副会長を務めさせていただくことになりました。

先日、久しぶりに大学に行く機会があり、新たにつくられた建物と並んで、昔とまったく変わりのない建物があるキャンパス構内を歩いていると学生時代を思い出してとても懐かしい気持ちになりました。



松本久司副会長

社会人として、日々の仕事や課題に追われる中で、心のゆとりが持てなくなりストレスを感じることも多いかと思えます。そんな中で、学生時代の仲間の懐かしい笑顔に逢える同窓会は、きつと皆様にとつて癒しや活力の場になることと思います。私も、同窓会を発展させられるように皆様の力を借りていきながら盛り上げていきたいと思っています。

皆さん、同窓会に足を運びましょう！

2012年度 常磐大学同窓会課外活動奨励金給付者決定

同窓会では、2011年度に常磐大学同窓会課外活動奨励金制度を創設しました。この制度は、常磐大学の発展および社会貢献に寄与できるまたはそれが期待できる学生の課外活動に対して、奨励金を給付し、同窓会活動に対する認知度や理解度の向上を目的としています。今年度は下記の3団体に対し、奨励金（学生プロジェクト奨励金）を給付することが決定しました。2月8日には、奨励金授与式が行われ、池田正則会



▲池田会長(左)、森学長(右)と課外活動奨励金を授与された代表学生たち。

団体名	活動成果の内容	給付金額
まちなかプロジェクトチーム	人間科学部コミュニケーション学科 仁平典秀さん 他4人 昨年度参加した「水戸まちなかプロジェクト（まちなかグルメビジョン）」を発展させ、映像コンテンツを用いたアプリを製作する。	200,000円
池田幸也ゼミナール	コミュニティ振興学部 ヒューマンサービス学科 石毛里佳さん 他9人 外国人の母子家庭の子どもに対する学習支援ボランティア活動。家庭を訪問し、学習支援をするほか、学校生活へ向けての支援も行う。	200,000円
中村英三ゼミナール	コミュニティ振興学部 ヒューマンサービス学科 堀江悠希さん 他15人 「茨城県外国人就労・就学サポート事業」に参加し、外国人就労者の子どもたちに対する日本語習得支援活動を行う。	104,760円

長から学生に奨励金が手渡されました。学生たちの活動内容および成果については、2013年度の同窓会総会時に報告会を開催します。

常磐大学生が考案した「茨城スイーツ」が商品化

水戸市の菓子製造販売の老舗「あさ川製菓」と人間科学部健康栄養学科の学生5名が若者をターゲットとした新商品開発に取り組み、2012年9月に商品化に成功しました。学生たちがアイデアを出し、試作と意見交換を繰り返しながら、2年越しで商品化にこぎつけました。開発した2商品のパッケージやネーミングにも学生の意見が取り入れられています。

商品には、いずれも茨城町産のさつまいもが使用されています。「ぶよもち」はさつまいも餡をぶよぶよのお餅で包んでおり、季節ごとにそれぞれ3つの味が期間限定で楽しめます。また、「常磐の宝箱 ポテトプリンセス」は焼きいもペーストの中にリンゴが入ったスイートポテトです。



▲一口サイズで食べやすい「ぶよもち」

同窓会員からのメッセージ ～健康栄養学科1期生より～



川崎彩香さん

2008年に人間科学部の学科が改組され、健康栄養学科が新設されました。健康栄養学科は、かねてから栄養士の養成に努めてきた常磐短期大学の実績を受け継ぎ、誕生した学科です。この学科を卒業すると同時に、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。

それから4年後の2012年3月に健康栄養学科の1期生が卒業しました。（人間科学部26期卒）

今回は、健康栄養学科1期卒で、現在、健康栄養学科の教務助手として勤務している川崎彩香さんと沼田佳菜子さんにメッセージを頂きました。



沼田佳菜子さん

私は、人間科学部健康栄養学科で第1期生として卒業し、助手をしています。調理実習や栄養教育論実習、応用栄養学実習等の実習の補助を、約1年前の授業を受けていた学生時代を思い出しながら頑張っています。学生から仕事へ変わった事で、気付かなかつた事がたくさん見えてきて、今では更に授業を面白く感じています。助手としては先輩としての経験してきたことを、後輩のためにできるように授業のサポートをしていきたいと思っています。

私は、主に給食経営管理実習で、100人分の調理をする学生のサポートをしています。大量の食材を前にどのように調理すべきが戸惑っていた学生が、回数を重ねるたびにたくましく調理を進めていく姿を見ると私も一緒に成長しているという実感がわきます。

学生から助手という立場に変わり、約1年が経とうとしています。まだまだ未熟ですが学生時代の経験を生かしつつ、学生から頼られる助手になりたいです。

2012年度 体育会&文化連合活動報告

硬式野球部

春季戦績
 ○関甲新学生野球春季リーグ(3部中2部)
 常磐大学○ 11-2 ×高崎経済大学
 常磐大学○ 10-0 ×高崎経済大学
 常磐大学○ 5-1 ×新潟大学
 常磐大学× 2-4 ○新潟大学
 常磐大学○ 9-0 ×埼玉大学
 常磐大学× 0-3 ○埼玉大学
 常磐大学○ 7-0 ×宇都宮大学
 常磐大学○ 6-2 ×宇都宮大学
 常磐大学○ 1-0 ×作新学院大学
 常磐大学○ 7-0 ×新学院大学
 ※8勝2敗
 プレオフ プレオフにより2部2位
 常磐大学× 0-2 ○作新学院大学
 秋季戦績
 ○関甲新学生野球秋季リーグ(3部中1部)
 常磐大学○ 8-0 ×新潟大学
 常磐大学○ 8-4 ×新潟大学
 常磐大学○ 11-2 ×埼玉大学
 常磐大学○ 3-0 ×埼玉大学
 常磐大学○ 10-0 ×宇都宮大学
 常磐大学○ 7-4 ×宇都宮大学

剣道部

春季戦績
 第58回関東学生剣道選手権大会
 1回戦
 川崎×○渡邊(新国大)
 坂場○×守屋(成蹊大)
 柴田○×藤田(淑徳大)
 重藤×○堂出(国際武道大)
 2回戦
 坂場×○山崎(上智大)
 柴田×○齋藤(国際武道大)
 第44回関東女子学生剣道選手権大会
 1回戦
 助川○×田原(東理大)

弓道部

春季戦績
 第42回全関東学生弓道選手権大会(男子団体戦) 予選敗退
 個人(男子)
 1名予選通過 2年 山中 裕輔
 (女子団体戦)
 人数不足により参加不可
 全関東学生弓道選手権大会
 団体の部男子 予選敗退
 女子 人数不足により参加不可
 個人の部決勝進出 2年 山中 裕輔
 秋季戦績
 男子 3部 対国際医療福祉大学戦

吹奏楽団

3戦3勝(内不戦勝2回)
 入替戦 対足利工業大学
 人数不足により不戦敗 3部残留
 女子 3部 人数不足により不戦敗 3部残留
 4月 入学式参加
 スプリングコンサート
 8月 第52回茨城吹奏楽フェスティバルの部 観賞
 ホーリーホックコラポデー 参加
 9月 学園祭参加(ポップスコンサート)
 10月 アンサンブルコンテスト校内予選会
 11月 アンサンブルコンテスト
 12月 第25回定期演奏会
 3月 ひたちなか市文化会館 卒業式参加

とくわ漫画研究会

6月 部誌「パラダイス」発行・配布
 7月 部誌「パラダイス」発行・配布
 8月 コミックマーケット80にサークル参加(in東京ビックサイト)
 9月 夏合宿
 10月 学園祭参加模擬店イラスト展示
 12月 部誌「パラダイス」発行・配布
 冬合宿
 ※右記以外にも各部活動しています。
 応援よろしくお願いします。

常磐大学・常磐短期大学と茨城大学人文学部の単位互換制度について

常磐大学・常磐短期大学と茨城大学人文学部は、学生交流と教育内容の充実を図ることを目的として、2011年9月に単位互換協定を締結しました。これに基づき、2012年4月から2部科目を開放することになり、相互に授業の履修および単位の修得が可能となりました。単位互換制度とは、他大学が開講する科目を履修し、修得した単位が所属大学の卒業のための単位として認定される制度です。
 授業の受講方法は、茨城大学のキャンパスにて受講する授業と、本学O棟センタールームにて茨城大学の教室と中継を結ぶ遠隔授業があります。
 2012年度において、茨城大学の科目を受講した常磐大学生は15名、常磐大学の科目を受講した茨城大学生は11名でした。
 茨城大学とはキャンパスが近いので、今後とも学生間の交流が深まることを期待しています。

異動情報の更新にご協力ください

ご住所やご氏名の変更等により、本同窓会からのご連絡をお届けていただけないことが多くあります。
 ご住所やご氏名に変更がありましたら、以下までご連絡ください。
 その他、同窓生の皆さまの近況報告等もお待ちしております。
 *同窓会のうちからも受け付けております。
<http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai>
 メール: dosokai@tokiwa.ac.jp
 Fax: 029-231-6078
 郵送: 〒310-8585 水戸市見和1-430-1
 常磐大学内 常磐大学同窓会事務局宛

ご結婚された方

久松雄大さん 人間科学部16期
 久保田 歩美さん(旧姓: 柳井) 「ミニミニ」振興学部5期
 久松裕子さん(旧姓: 石田) 同窓会事務局では、会員の皆様の情報収集をしています。
 「ミニミニ」振興学部1期

掲載文募集

同窓会事務局では、会報「とくわの風」に掲載する会員の皆さまからの投稿を募集しています。「送付先」〒310-8585 常磐大学同窓会事務局 または、お寄せください。(編集の都合上 dosokai@tokiwa.ac.jp)

編集後記

新しい年が明けると、何かしら目標を立てて頑張ろう!と毎年意気込んでいるが、大きな目標を立てては挫折しての繰り返し。「運動の習慣」と「ダイエット」は Teppan です。食欲と怠け癖に打ち勝てるように目標を立てましたか? (1)

MESSAGE

大学における行政職の経験—教育・研究に加えて—

昨年、まったく突然に国際学部の学部長に任ぜられて、1年近くたつてようやく多少慣れてきたところです。渡部は、最近の卒業生には経営学科の学科長として、前身の国際関係学科のときには学科主任(兼・国際協力学専攻主任)として覚えていらっしゃる方もいるかと思いますが、英米語学科や他の学部の卒業生には今後とも宜しく願っています。もともと教育と研究に一生をかけるつもりで大学教員(研究者)を志しましたので、慣れない学部長職には戸惑っています。これも職場や家庭などそれぞれの場で皆さんが精一杯努力しているのと同様に、貴重な経験として受け止めております。

教育者としては、国際学部創設時

より、法学概論Ⅱ、国際環境法、国際機構論等を担当し、受講した皆さんからも評価が高かったのが懐かしい思い出です。途中からの担当でしたが地域研究演習や国際関係論、国際協力論、国際人権論など、皆さんとの楽しいかつ意義深い授業の数々は良く覚えております。人間科学部や「ミニミニ」振興学部の皆さんが受講していた授業もありました。また、非常勤講師としては、青山学院大学大学院、東京外国語大学(学部と大学院)、筑波大学など多くの大学(大学院)での講義も貴重でした。研究者としては、文科省科研費出版助成による単著『国際機構の機能と組織—新しい世界秩序を構築するために』をはじめ、編集、監修、共著も含めると

20数冊の著書と、『人類の道しるべとしての国際法—平和、自由、繁栄をめざして』の巻頭掲載の「グローバル・ガバナンスにおける統治機能としての国連—地球共同体の立法機能 行政機能 司法機能を担う国際機構システム」をはじめ、今年までに30編以上の論文をなんとか発表できました。また、大学基準協会・評価委員としての外部の大学と大学院の評価や日本国連学会の理事も得難い経験です。

さて、卒業生のみならず常磐大学を気軽に訪ねてくるための機会のひとつとして、昨年度から国際学部ホームカミングデーを毎年度開催しております。本



国際学部長・教授
 常磐大学同窓会顧問
渡部 茂己 先生
 日本大学大学院法学研究科博士課程
 単位取得満期退学
 学位: 法学修士
 専門: 国際法、国際環境法、国連研究